

## 年間学習計画と評価について

学 校 名	学 年	教 科
内 部 中 学 校	1 学 年	国 語

### 1 学習のねらい等

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な国語作品や漢字・文法の学習を通して、国語への関心を高め、感性を豊かにし、ものの見方・考え方を深め、国語の基礎学力を伸ばし育てる。</li> <li>○状況に応じて、自分の考えを相手に伝えたり、相手の考えを聞いたりする力を養う。(話す・聞く力)</li> <li>○目的に応じて筋道を立てて文章を書いたり、まとめたりする力を養う。(書く力)</li> <li>○様々な題材を通して、その作品の意図する内容を的確に読み取り、把握する力を養う。(読む力)</li> <li>○言葉や文法についての学習を通して、言語知識を身に付ける。(言語に関する知識・理解・技能)</li> <li>○正確な漢字の読み書きのできる力を養う。(言語に関する知識・理解・技能)</li> </ul>
使用教材	<p>教科書：国語1（光村図書）、新しい書写（東京書籍）</p> <p>問題集：国語の学習（明治図書）、よくわかる中学国文法(吉野教育図書)</p> <p style="padding-left: 40px;">国語便覧(浜島書店)、E漢字（東京法令出版）</p> <p>その他：国語辞典、習字セット</p>

### 2 評価の観点および方法

	評 価 の 観 点	評 価 の 方 法
①関心・意欲 態度	・国語に関心を持ち、意欲的な態度で学習に取り組むことができる。	・授業中の発言・発表の様子・授業中の行動の様子・提出物の提出状況・課題へのノートのまとめ方
②話す・ 聞く力	・目的や場面に応じ、日常生活に関わることなどについて構成を工夫して話したり相手の意図を考えながら聞いたり、話題や方向をとらえて、話し合うことができる。また、話したり聞いたりして考えをまとめようとするすることができる。	・説明、発表の様子・スピーチ・討論の内容・聞き取りテスト、聞く態度
③書く力	・目的や意図に応じて、日常生活にかかわることなどについて、構成を考えて的確に文章を書くことができる。また、進んで文章を書いて考えをまとめようとするすることができる。	・課題レポート・課題プリント・感想文・作文・定期テスト
④読む力	・目的や意図に応じて、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえることができる。また、読書を通してものの見方や考え方を広げようとするすることができる。	・授業中の課題・朗読テスト・定期テスト
⑤言語についての知識・ 理解・技能	・文法や漢字などの知識を身に付けることができる。書写では楷書や行書を正しく整え、速く書くことができる。	・音読・小テスト（漢字・文法）・書写作品・暗唱テスト・定期テスト

### 3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
一 学 期	<p>「『好きなもの』を紹介しよう」 スピーチをする</p> <p>○紹介する事柄を選び、スピーチメモを作り、 分かりやすいスピーチを考えて発表する。</p> <p>「野原はうたう」 「声を届ける」</p> <p>○野原うたを楽しみながら朗読する。 ○詩の主人公になりきって生き生きと朗読する。 ○音読を行う際の注意点や工夫点を確認する。</p> <p>「書き留める／調べる」</p> <p>○図書館の活用方法や、辞書・インターネットな どの調べ方について確認する。</p> <p>「情報を的確に聞き取ろう」</p> <p>○教科書を閉じた状態で「担任の先生の話」 を聞き、聞き取りメモを取る。 → <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">CD</span></p> <p>○聞き取りメモの取り方について話しあう。</p> <p>「花曇りの向こう」</p> <p>○それぞれの場面の「僕」の気持ちがわかる様子 や行動・会話から、「僕」の気持ちを捉える。 ○冒頭と結末の場面を比べ、少年の気持ちの変化 を文章に沿って読み取る。 ○人物の気持ちの変化から、題名に込められた意 味を考える</p> <p>「季節のしおり 春」</p> <p>○二十四節気という言葉や春の情景を歌った歌詞な どを読み味わい、伝統的な言語文化に親しむ。</p> <p>「わかりやすく説明しよう 観点を立てて書く」</p> <p>○集めた情報を観点別に整理し、必要な情報を選 択する。 ○わかりやすく伝えるための構成を考え、文章を 書く。</p> <p>「漢字1 漢字の組み立てと部首」</p> <p>○漢字の組み立てと部首について学習する。</p> <p>「ダイコンは大きな根？」</p> <p>○「問い」を投げかけている段落と、それに対す る「答え」を示している段落を見つける。</p>	<p>○分かりやすいスピーチになるような原稿の 内容や、声の大きさなどを工夫している。</p> <p>○作品の表現に関心を持ち、進んで音読の練習 に取り組もうとしている。</p> <p>○音読を行う際の注意点や工夫点を確認・理解 し、音読している。</p> <p>○作品の表現の特徴や効果について、自分なり の考えをまとめている。</p> <p>○音量や抑揚などを工夫して音読している。</p> <p>○図書館の活用方法や、辞書・インターネット の調べ方について知り、実生活に生かそうと している。</p> <p>○聞き取りメモの重要性を理解し、積極的にメ モを取る練習をしようとしている。</p> <p>○情報を正確に聞き取り、要点を押さえてメモ している。</p> <p>○場面の展開を確かめながら、「僕」の気持ち を考え、その変化を捉えている。</p> <p>○登場人物の心情や行動を表す言葉に着目し て作品を読み進めている。</p> <p>○登場人物の描写から、その気持ちの変化を捉 えている。</p> <p>○題材を適切に選択してまとめ、友達にわか りやすく伝える文章を書こうとしている。</p> <p>○身近な生活の中から目的に合った情報を集 め、観点を決めて整理してわかりやすい文章 を書いている。</p> <p>○漢字の組み立てに関心を持ち、部首をもと に既習の漢字を調べようとしている。</p> <p>○段落の役割を考える際に、文と文、段落と 段落を接続する語句に着目している。</p> <p>○問題提起の段落や、根拠を述べている段落な</p>

<p>○題名の付け方や説明の順序など、文章の書き方について筆者の工夫を考える。</p> <p>「ちょっと立ち止まって」</p> <p>○段落の内容に着目して文章を読み取る。</p> <p>○説明的文章を読み、筆者の主張を正確に読み取る。</p> <p>「記録のしかたを工夫する」</p> <p>「情報の集め方を知ろう」</p> <p>「情報コラム 本／インターネット／新聞」</p> <p>「言葉1 話し言葉と書き言葉」</p> <p>○話し言葉と書き言葉の違いを知り、音声の果たす役割について学習する。</p> <p>「詩の世界」</p> <p>○全文を通読し、筆者のものの見方や考え方が表れた語句や表現の意味を考え、描かれた情景を想像する。</p> <p>「言葉を集めよう もっと『伝わる』表現をみざして」</p> <p>○観点を決めて多くの言葉を集め、その言葉を使って日常生活を題材とした推薦文を書く。</p> <p>「空を見上げて」</p> <p>「文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう」</p> <p>○言葉の区切りについて考える。</p> <p>○言葉の単位とそれぞれの性質を理解する。</p> <p>「光る地平線」</p> <p>「私が選んだこの一冊 読書案内 読書コラム」</p> <p>○本や文章を読み、必要に応じて引用して紹介する学習活動について理解する。</p> <p>「季節のしおり 夏」</p> <p>○二十四節気という言葉や夏に関する歌詞、詩歌などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。</p> <p>書写～硬筆</p> <p>○書写を通してひらがなの正しい字形について学習する。</p>	<p>ど、段落の役割の違いを理解する。</p> <p>○図を使って説明された文章に興味をもち、文章と図を対応させて読もうとしている。</p> <p>○段落と段落の関係に注意しながら文章の構成を捉えている。</p> <p>○指示する語句が表す部分を適切に読み取っている。</p> <p>○話し言葉と書き言葉の違いを知ろうとする。</p> <p>○興味をもって、詩を読もうとしている。</p> <p>○詩の表現から、情景や作者の思いに触れながら読み、詩の世界を広げている。</p> <p>○観点に基づいて集めた言葉を分析し、自分の表現に生かそうとしている。</p> <p>○必要な言葉を多く集め、よりの確に伝わる表現を選ぼうとしている。</p> <p>○言葉にはどのような力があるのかを読み取り、言葉について考えを深めている。</p> <p>○言葉の決まりについて関心をもち、言葉の単位とその働きを理解しようとしている。</p> <p>○文法の必要性を知り、言葉の単位とその働きについて整理した内容を理解している。</p> <p>○読書教材に書かれているものの見方や考え方に関心をもち、読書紹介に生かそうとしている。</p> <p>○傍線を引いた印象に残った場面や感動の中心となる場面から、語句や表現を引用している。</p> <p>○正しい字形や筆順を覚える。</p>
--	--

<p>二 学 期</p>	<p><b>「星の花が降るころに」</b>  ○文脈の中で使われている語句の意味を捉え、情景を想像して読む。  ○登場人物の気持ちや行動、場面の展開や描写に注意して読み取る。</p> <p><b>「大人になれなかった弟たちに……」</b>  ○登場人物の行動や情景描写などに着目して読み、作者の思いを捉える。  ○表現の特徴や、時代の描かれ方などに着目し、自分を見つめ、生き方を深めていくことの大切さを考える。</p> <p><b>「わかりやすい案内文を書く」</b>  ○日常生活の中から課題を決め、伝える事柄・目的・相手に応じて、項目を立てて案内文を構成する。</p> <p><b>「シカの『落ち穂拾い』—フィールドノートの記録から」</b>  ○記録の文章の構成に興味をもち、図表の役割に着目して、事実とそれに基づく筆者の考えを読み分ける。</p> <p><b>「調べたことを報告しよう レポートにまとめる」</b></p> <p><b>「漢字2 漢字の音訓」</b></p> <p><b>「言葉2 指示する語句と接続する語句」</b>  ○指示する語句と接続する語句の働きについて理解する。</p> <p><b>「季節のしおり 秋」</b></p> <p><b>「音読を楽しもう いろは歌」</b>  ○仮名遣いに注意して音読し、古文の言葉の響きや調子に読み慣れる。</p> <p><b>「月に思う」</b>  ○七夕を題材にした和歌、随筆、俳句を読み、古典の世界に触れる。  ○和歌、随筆、俳句を音読し、古文特有のリズムを味わう。</p> <p><b>「蓬萊の玉の枝 —『竹取物語』から」</b>  ○語句に注意しながら、現代の文章と古文とで異なる部分を確認、古文の表現の特徴を知る。  ○仮名遣いに注意し、古文のリズムを味わいながら音読し、古典の文章に読み慣れる。</p>	<p>○作品の展開や登場人物の描写に興味をもって読もうとしている。</p> <p>○情景描写に着目し、登場人物の心情の変化を捉えている。</p> <p>○登場人物の心情や行動を表す言葉に着目して作品を読み進めている。</p> <p>○時代背景や人物の描写に関心をもって読もうとしている。</p> <p>○情景や人物描写に着目して登場人物の心情を読み、作者の思いを捉えている。</p> <p>○事柄や目的に応じた項目を立てて、相手に伝わりやすい案内文を書こうとしている。</p> <p>○項目ごとに整理し、相手を意識してわかりやすい案内文を書いている。</p> <p>○動物の生態など内容に興味をもって読もうとしている。</p> <p>○箇条書きや小見出しに着目して読み、どのようなことを書き記すときに効果があるのか、通常の文章と比較して考えている。</p> <p>○指示する語句と接続する語句の文中での働きを理解している。</p> <p>○言葉のリズムに親しもうとしている。</p> <p>○言葉の調子や間の取り方などを考えて音読している。</p> <p>○古文特有のリズムを味わいながら古典の世界に触れて、季節の見方を広げている。</p> <p>○歴史的仮名遣いの言葉を正しく読み、現代語訳を参照して文語の意味を捉えている。</p> <p>○古文を、興味・関心をもって繰り返し音読しようとしている。</p> <p>○古文の言い回しや現代の文章とは違う表現に着目して、物語を読み進めている。</p> <p>○仮名遣いや文末の違いを理解し、現代では使われなくなった言葉にも気づいている。</p>
----------------------	--	--

<p><b>「今に生きる言葉」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○故事成語の由来と意味を理解する。</li> <li>○漢文独特の言い回しに読み慣れる。</li> </ul> <p><b>「練習 故事成語を使って体験文を書こう」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の生活を振り返り、故事成語を使って体験文を書く。</li> </ul> <p><b>「幻の魚は生きていた」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○文章の中心となる部分やそれを支える部分を読み分け、目的や必要に応じて要約したり要旨を捉えたりして、筆者の考えを捉える。</li> <li>○筆者の考えを基に人間の生活と生き物や環境との関係について自分の生活や体験と重ねて考える。</li> </ul> <p><b>「流れを踏まえて話し合う」</b></p> <p><b>「話題や方向を捉えて話し合おう グループディスカッションをする」</b></p> <p><b>「練習 感じたことを整理する」</b></p> <p><b>「根拠を明確にして魅力を伝えよう 鑑賞文を書く」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○観点を決めて作品を鑑賞し、その魅力を伝える文章を書く。</li> </ul> <p><b>「文法への扉2 言葉の関係を考えよう」</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○文節どうしの関係、連文節、文の組み立てについて理解する。</li> </ul> <p><b>書写～硬筆・毛筆</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○書写を通して、正しい字形や筆順で字を書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○故事成語の意味や由来に関心を持ち、漢文の言い回しに読み慣れようとしている。</li> <li>○漢文独特の言い回しに注意して「矛盾」を音読し、現代語訳を参考にして、故事成語の由来と意味を理解している。</li> <li>○辞典や資料を活用して、多くの故事成語を調べようとしている。</li> <li>○集めた中から、自分の体験と同じ意味をもつ故事成語を選び、体験文を書いている。</li> <li>○中心となる文に注目し、文章の要旨を捉えている。</li> <li>○筆者の考えを基に、人間の生活と生き物や環境との関係について考えを深めた。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○グループでの話し合いを通して自分の考えを広げ、深められた</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○好きな作品を選び、観点を決めて、鑑賞文を書こうとしている。</li> <li>○文の決まりに関心を持ち、文節どうしの関係などについて理解しようとしている。</li> <li>○文節どうしの関係、連文節、文の組み立てについて整理した内容を理解している。</li> <li>○自分の字を客観的に見つめ、より丁寧な字を書くように心がける。</li> </ul>
--	---

<p>三 学 期</p>	<p>「桜守三代」 「読書案内 本の世界を広げよう」 「季節のしおり 冬」 「少年の日の思い出」 ○場面展開や人物の描写に注意して作品を読み、登場人物の心情の移り変わりを捉える。 ○文脈の中における語句の意味を正確に捉えて作品を読み、登場人物のものの見方や考え方について自分の考えをもつ。 「言葉3 ささまざまな表現技法」 ○言葉の並べ方の工夫や比喻（たとえ）について理解する。 「漢字3 漢字の成り立ち」 ○漢字の成り立ちについて理解する。 「印象深く思いを伝えよう 新入生へメッセージを書く」 「文法への扉3 単語の性質を見つけよう」 ○単語を分類する観点を理解しよう 「1年間の学びを振り返ろう ポスターセッションをする」  「ぼくが ここに」</p>	<p>○読書を通して様々な人の生き方に触れ、自分の物の見方をひろげようとした。  ○場面展開や人物の描写に注意しながら読み、登場人物の心情の移り変わりを捉え、人物のものの見方や考え方について、自分なりに考えている。 ○場面描写の言葉や登場人物の心情を表す言葉に着目して作品を読み進めている。 ○さまざまな表現の工夫について理解しようとしている。 ○言葉の並べ方の工夫や比喻について、それぞれの表現上の特質などを理解している。 ○漢字の成り立ちに関心をもち、漢字の理解を深めようとしている ○より読み手に伝わるように、印象や感動を表す言葉を探し、書いている。 ○単語の性質を確認し分類する観点を知る。 ○協力して発表に取り組もうとしている。 ○話の構成を工夫し、聞き手の反応を踏まえながら発表している。  ○詩の内容に興味をもって、作者の思いへのイメージを膨らませようとしている</p>
----------------------	---	--

4 学習方法についてのアドバイス

<p>学 校  学習方法</p>	<p>○学習課題を的確に把握し、前向きに課題に取り組もう。 ○先生や友達の話や発表をしっかりと聞き、自分の考えと比較し、自分なりの考えを持つ。 ○わかったことをノートにまとめたり、積極的に挙手して発表したりしよう。 ○チャイムが鳴ったら、漢字テストを係の生徒と協力して始めよう。 ○授業中に板書されたことや気づいたことなどをノートに工夫してまとめよう。 ○わからない語句があったら、すぐに辞書で調べよう。 ○興味のある作品や作者については国語便覧で調べよう。</p>
<p>家 庭</p>	<p>○ノートまとめや「国語のワーク」・「漢字の学習」などは各自で自主的に進めよう。 ○宿題は必ず家でやってこよう。 ○わからなかったり、気になったりした言葉はどんどん辞書を引いて確かめよう。 ○本をたくさん読み、視野を広げ心を豊かにしよう。</p>